

## くれは山荘卓話第4回 ～呉羽丘陵の自然と素質について～



9月7日、くれは山荘卓話「呉羽丘陵の自然と素質について」を開催しています。参加者は18名でした。きんたろう倶楽部事務局長より報告し、呉羽丘陵の地形や成り立ち、植生の特徴、またあまり語られない呉羽丘陵の昆虫類(水生昆虫等)の生態についてお話ししました。呉羽丘陵の西側(射水市側)では東側に比べて河川のPH値が低いこと、また西側斜面の河川にはミズムシが優先種で、東側にはヨコエビが優先種と、東西の河川で棲み分けをおこなっているようです。なぜ丘陵の東西の河川でPHに差があるのか、また水生昆虫との関連など現時点では不明ですが、現象面として明らかな差があることなどの不思議をご紹介します。

## 呉羽丘陵で枯れつつある竹林があります

呉羽丘陵の一部で枯れつつある竹林のエリアがあります。一時的なものか、何かの原因によるものかを調査するために、元富山県森林研究所の大宮徹氏に協力を頂いて、調査区を設定することとしました。9月までに4ヶ所のモニタリング区域を設定し、経過観察を行っています。



## 竹の連続講座Ⅱ ～竹と日本文化～



8月11日、きんたろう倶楽部・バンブーセーブザアース・とやまの竹を考える会とともに、くれは山荘で「竹の連続講座Ⅱ」を開催しました。参加者は16名です。今回のテーマは竹と日本文化で、古来様々な種類の竹が調度品などに使用されてきたこと、また菅笠の骨組みなどにも活用されてきたことなども紹介いただいています。孟宗竹は、江戸時代に日本に導入されたのち面積が拡大し放置竹林が問題となり、竹と共存する方法がまだ確立されてはいないことも学び今後のすすめ方を考えます。

## 悠久の森 2024～森で遊ぼう



8月25日、ファミリーパークにおいて、「悠久の森 2024～森で遊ぼう」が開催され、きんたろう倶楽部は(おうちで流しそうめん)として、呉羽丘陵の竹で作った本格手作りの流しそうめんキットを提供しました。ほぼ予定したセットは完売し、手作りの竹のつゆ受け、竹の箸も作成して頂きました。

◆その他、今月は以下の活動を実施しています◆

- 8/16 富山県立北部高校との打ち合わせ
- 8/22～23 悠久の森流しそうめんの竹の採取・加工
- 8/28 コウゾ畑の草刈り
- 9/2 とやまの森づくりサポートセンター運営委員会
- 9/9 月いちウォーク下見